

令和4年度予算 主要事業の概要



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



各政策群に附随するアイコンは、SDGsに対する認識を高めるため、全体を表す1つのロゴと17の目標について国際連合により作成された個別のアイコンです。

令和 4 年度予算の概要

【 編成方針 】

「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて

新型コロナウイルス感染症が拡大し、2 年間に渡り日常生活に大きな変化を強いられてきた中、現在も新たな変異株が猛威を振るい、世界的には未だ終息とは言えない状況が続いています。しかし、国内では 3 回目のワクチン接種がスタートしたほか、国産治療薬の研究が進められるなどにより、令和 4 年度は国内の経済活動、社会活動がようやく正常に戻る“アフターコロナ”に移行することが期待されています。

その中で編成に当たった令和 4 年度予算は、コロナ禍の 2 年間で停滞してしまったムードを吹き飛ばすべく、全国的に動きだす人流の取り込みによる『**地域経済の復活**』と、地域活動の着実な実行と新たな地域資源の掘り起こし等による『**市民の前向きな空気感の復活**』をテーマとし、様々な場で寄せられた市民の皆様からのご意見や、議会でのご提案等を予算協議の中で全てチェックし最大限取り入れつつ、全庁を上げて政策の充実に取り組んできました。

これにより、これまで止まっていた観光・地域振興施策の着実な実行とコロナ禍の知見を活かした「**積極的な地域振興**」により元気な飛騨市をつくり、これまで大きな政策として取り組めていなかった環境や景観など「**未来に繋ぐ地域資源の保全**」により市民の誇りを醸成し、そして、これまでも取り組んできた弱者対策など、飛騨市の「**特色ある政策の深化**」によりあんな飛騨市をつくるという 3 つの重点方針を柱に、全方位に渡り政策を展開してまいります。

こうして、令和 4 年度はアフターコロナにおける持続可能な社会の実現を目指し、飛騨市に関わる全ての皆様が、それぞれ住み慣れた環境の中で心豊かに穏やかに、そして日々の生活を楽しく暮らすことが出来るよう、努めてまいります。

【 重点方針 】

- **積極的な地域振興**
- **未来に繋ぐ地域資源の保全**
- **特色ある政策の深化**

目次

【 政策の柱 】

元気な飛騨市づくり -しごとを守る-

- ◎ 市民や事業所が活気に溢れるまちをつくる 5
 - 積極的な地域振興施策の実施
 - アフターコロナの潮流を捉えた産業の振興
- ◎ 持続可能な産業の基盤をつくる 9
 - 持続可能な農畜産モデルの構築
 - 森林の適切な整備・保全による脱炭素社会への貢献
 - 社会変化に柔軟に対応できる事業者の支援
- ◎ 関係人口と地域が“交動”する仕組みをつくる 14
 - 外部人材の活力による地域の活性化

あんな飛騨市づくり -まちをつくる-

- ◎ みんなが心豊かに暮らせる環境をつくる 16
 - 安心して子育てできる環境の整備
 - 弱い立場の方々が不自由なく暮らせる環境の整備
- ◎ みんなが健康で暮せる環境をつくる 19
 - 持続可能な医療・介護・福祉体制の整備
 - 気軽に取り組める健康づくりの促進
- ◎ 安心して住み続けられるまちをつくる 21
 - 防災・防犯体制の強化
 - 新しい生活様式に対応したインフラ・行政サービスの充実

誇りの持てる飛騨市づくり -ひとを伸ばす-

- ◎ 資源・環境を未来に引き継ぐ仕組みをつくる 25
 - 未来に繋ぐ地域資源の保全と活用
 - クリーンで住み続けられるまちづくり
- ◎ 人口減少先進地の特色ある学びをつくる 27
 - 地域一体で育む子ども達の学び
- ◎ 地域や人を誇れるまちをつくる 29
 - 地域づくり型生涯学習の実現
 - 歴史・文化資源を活用した地域づくり

【 資料説明 】

新規 新年度から新たにスタートする事業

拡充 今年度までの事業内容を拡張・充実させた事業

継続 今年度までの事業内容を引き続き継続させる事業

事業の主な概要

新規

神岡町の鉱山資料館のリニューアルに向けた基本設計等の実施

有識者や市民が参加する検討委員会を設置し、コンセプトや展示内容等の検討を行いつつ基本設計を実施し、財源対策も含めた今後の整備方針を決定します。

予算額

8,411 千円

神岡振興事務所

概要書： 8 P

事業の内容

概要書の掲載ページ

令和4年度予算 主要事業の概要

元気

元気な飛騨市づくり –しごとを守る–

市民や事業所が活気に溢れるまちをつくる

積極的な地域振興施策の実施

新型コロナウイルスがもたらした地域経済へのダメージと市民マインドの低下を復活させ、再び飛騨市が活気に満ち溢れた町になるよう、これまで止まっていた地域振興施策を着実に実行するとともに、新たな資源の発掘とブラッシュアップを行います。



地域の観光拠点を核としたまちづくり

新規 神岡町の鉱山資料館のリニューアルに向けた基本設計等の実施

有識者や市民が参加する検討委員会を設置し、コンセプトや展示内容等の検討を行いつつ基本設計を実施し、財源対策も含めた今後の整備方針を決定します。

8,411 千円
神岡振興事務所
概要書： 8 P

新規 神岡城における江馬氏城館跡の価値を伝える展示リニューアル

神岡城の展示内容について、江馬氏の歴史や城館跡の価値を出土遺物などの考古資料や解説パネルにより来館者にわかりやすく伝えられるようリニューアルします。

10,000 千円
文化振興課
概要書： 9 P

新規 飛騨古川まつり会館 4 Kシアターを活用したワンコインシネマの開催

過去の古川祭映像を 4 K対応に高画質化するほか、講演会の開催や、市の事業にまつわる映画作品等を上映するワンコインシネマ(500円)を年 6 回開催します。

3,578 千円
観光課
概要書： 10 P

新規 飛騨古川まつり会館の市を挙げた誘客セールスの実施

200円の入館割引券を市内飲食店や宿泊施設、近隣地域へ配布し、それぞれの店舗がまつり会館の営業マンとして地域一体となった誘客を展開します。

1,000 千円
観光課
概要書： 11 P

新規 ヒダスケ等を活用した飛騨古川まつり会館の魅力アップ

ヒダスケなどの活用により、新たな誘客イベント企画や外装のしつらえなどに対する提案を募集し、まつり会館の魅力と身だしなみの向上を図ります。

307 千円
観光課
概要書： 11 P

継続 ひだ宇宙科学館「カミオカラボ」での企画展等の開催

カミオカラボにおける期間限定企画展や研究者トークなどのサイエンスカフェの開催のほか、ラボサポーターによる科学館や研究施設等への視察研修を実施します。

1,305 千円
神岡振興事務所
概要書： 1 P

地域の資源・人を活かした特色あるまちづくり

新規 入浴施設を活用した「ひだ森サテライト」拠点づくり

各町での薬草普及を図るため、市内の入浴施設を活用し、年間を通して薬草風呂や薬草茶の試飲、薬草ワークショップが体験できる「薬草週間」を毎月開催します。

200 千円
地域振興課
概要書： 12 P

拡充 入浴パック等の薬草新商品の研究・開発

新たに市内福祉団体と連携し、薬草を活用した入浴パックの商品化を進めるとともに、引き続き薬草ワークショップメニュー等の開発を研究します。

773 千円
地域振興課
概要書： 12 P



拡充 年間を通じた薬草シリーズ講座の開催

身近にある薬草の話や薬草の有用性、漢方の話など、これまで行っていた講座から種類を拡充して年間を通じて幅広い講師陣による市民向け講座を開催します。

297 千円	地域振興課
概要書： 12 P	

新規 天生の森と止利仏師企画展の開催

地域の語り部による止利仏師に関する講演会や歴史などの解説パネル、飛騨の匠の道具等を展示する企画展を飛騨市文化交流センターをメイン会場に開催します。

2,420 千円	河合振興事務所
概要書： 13 P	

新規 富山ドローンスクールと連携した飛騨市ドローンスクールの開校

市内でのドローン資格を取得する機会を創出するため、富山ドローンスクールから講師を招へいし、「飛騨市ドローンスクール」を開校します。

100 千円	地域振興課
概要書： 14 P	

地域の特性を活かしたスポーツ大会の開催

新規 全国中学生クロスカンントリー大会in流葉の開催

ひだ流葉スキー場周辺に設営されているウォーキングコース（1周約3km）を活用し、全国から中学生5人1組のチームを約100チーム募集し実施します。

3,282 千円	スポーツ振興課
概要書： 16 P	

魅力的な食をテーマにしたまちづくり

新規 食の大使による家庭で公邸料理を味わう料理教室の開催

公邸レベルの料理を家庭でも楽しめるような市民向けの料理教室を開催するとともに、オンライン配信により市外に向けて飛騨の食材の魅力をPRします。

459 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 18 P	

新規 飛騨市観光プロモーション大使を活用したブランド米の栽培・販促

市観光プロモーション大使の永田薫さんと米農家によりお米を共同栽培し、その過程をSNS等でPRするほか、収穫したお米をふるさと納税返礼品として出品します。

1,200 千円	食のまちづくり推進課・観光課
概要書： 19 P	

（予算額は「飛騨市観光大使の活用推進事業」の総額です）

新規 首都圏レストランへの飛騨市産食材の営業活動の実施

首都圏を中心に、食の大使の紹介や県との縁などを足掛かりに有名店等に営業を行うとともに、料理人やバイヤー等を招へいし、生産者との繋がりを創出します。

1,229 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 21 P	

拡充 ひだ森のめぐみにおける薬草加工サービスメニューの拡充

ひだ森のめぐみに材料を圧縮しながらすり潰す低速ジューサーを導入し、市民からの要望が高かったドクダミ等を絞る加工サービスを新たに追加します。

108 千円	地域振興課
概要書： 1 P	

新規 天生の森と止利仏師伝説ゆかりのツアーの開催

伝説の舞台となった天生の森、匠屋敷、飛騨の匠石碑等、ゆかりの地を訪ね悠久の歴史ロマンに想いを馳せる体験ガイドツアーを年3回開催します。

136 千円	河合振興事務所
概要書： 13 P	

拡充 小さなまちづくり応援事業のリニューアル

小さなまちづくり応援助成金のメニューを通常補助に加え、クラウドファンディングの手数料支援を行うほか、新商品・サービスの開発も支援対象とします。

3,562 千円	地域振興課
概要書： 15 P	

拡充 飛騨駅伝競走大会の市を挙げた応援の実施

音楽演奏を行い選手の気勢を高めるとともに、小旗を作成し沿道の皆さんからも選手を応援していただくなど、市全体で飛騨駅伝競走大会を盛り上げます。

580 千円	スポーツ振興課
概要書： 17 P	

新規 飛騨市まるごと食堂・旬のまるごとフェアプレイバントの開催

旬の地域食材等を用いた夏と冬の市内キャンペーンのプレイバントとして、新たなメニューの提案や試食会、講義を開催し、提供メニューのクオリティ向上を図ります。

1,252 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 18 P	

新規 経産牛「飛米牛」の肉質調査の実施

産歴の高低による比較を行い、オレイン酸やイノシン酸などの分析から「飛米牛」の肉質を見える化するほか、結果を農家と共有し、研修会を開催します。

907 千円	畜産振興課
概要書： 20 P	

新規 食用バラの栽培研修会の開催

剪定が必要な枝の見分け方や害虫の防除方法など、栽培者向けの研修会を開催することで、生産技術の向上を図り食用バラ生産の安定化を支援します。

246 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 22 P	

観光受入体制の更なる強化

新規 観光ガイドのスキルアップ機会の創出

飛騨高山の古い街並みなど、他地域のフィールドガイドとの交流会を年4回程度開催しガイド個人のサービス能力の向上を図ります。
概要書： 23 P
(予算額は「新たな観光人材の育成事業」のうち「ガイドのスキルアップ事業」の総額です)

306 千円
観光課

新規 食の大使による飲食店・旅館向け食の魅せ方講座の開催

SNSや店舗のメニュー表などに使用する写真について、スマホでの映える写真の撮影方法から、美味しく魅せる料理の盛り付け方などを学ぶ講座を開催します。
概要書： 18 P

280 千円
食のまちづくり推進課

新規 飲食店等におけるweb情報発信の強化セミナー等の開催

市内飲食店のGoogleマップなどwebへの情報掲載や紹介動画の作成など、webを活用した情報発信の強化を図るセミナーを年4回開催します。
概要書： 24 P

680 千円
商工課

新規 飲食・小売店における魅力的なメニュー・POP作成セミナーの開催

市内飲食・小売店を対象に、お店に入りたい、商品を買いたいと感じさせる魅力的な商品POPやメニュー看板の作り方をPOPマイスターに学ぶ講座を3回開催します。
概要書： 24 P

190 千円
商工課

新規 市公式観光webサイトのリニューアル

体験企画の申込機能や既存関連サイトを統合し、更に、使いやすさのアンケート調査を随時行い改善を図りながら市観光サイトのリニューアルを行います。
概要書： 25 P

9,200 千円
観光課

(組織の見直し)

組織 観光課と地域振興課の一部を統合し「まちづくり観光課」を設置

地域資源の発掘からブラッシュアップ、プロモーションまでを一括してプロデュースするため、地域振興課のまちづくり部門と観光課を統合し「まちづくり観光課」を設置します。

商工観光部

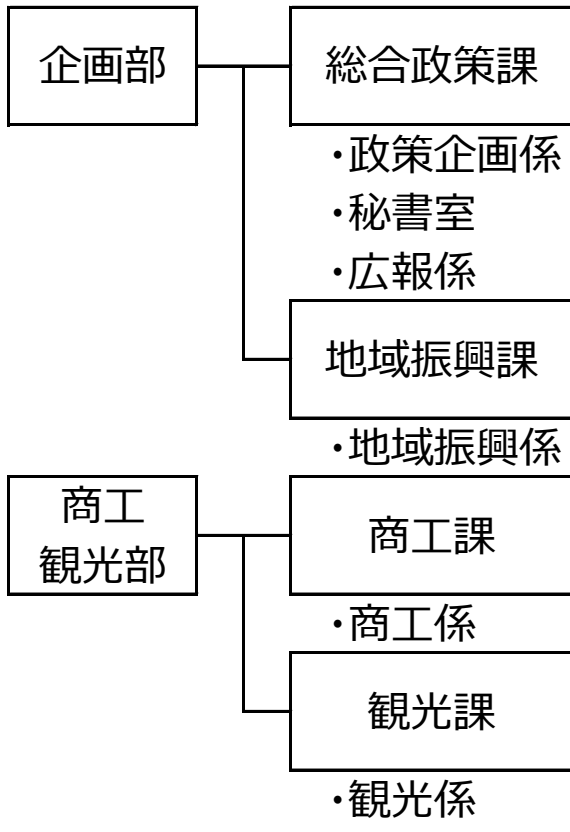
組織 地方創生人材支援制度を活用した外部人材の登用

内閣府の制度を活用し、企業で実績のある人材を参与として常勤登用します。食のまちづくりに関する営業活動や特産品の開発などの担当を企画部に、観光施設の集客・プロモーション、メディアリリース統括の担当を商工観光部に各1名配置します。

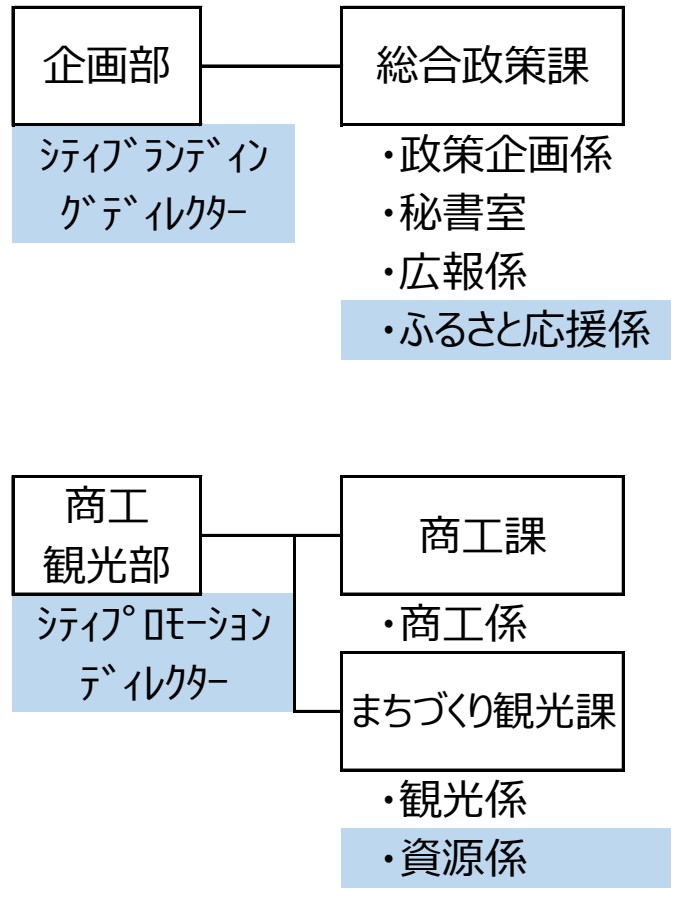
企画部
商工観光部



(見直し前)



(見直し後)



コロナ禍における産業の景気回復の遅れを取り戻すため、市独自の物産イベント等を適切なタイミングで実施するとともに、市がこれまでブラッシュアップしてきた農作物や特産品など全国に誇る逸品を市内外でPR・販売することで、全国的なアフターコロナにおけるエシカル消費、リバウンド消費の需要を確実に取り込みます。



農産物直売所を核にした農産物等の販売促進

上町農産物直売施設のオープン

古川町朝開町にある農産物直売施設の老朽化に伴う道の駅アルプ飛騨古川への移転に向け、令和3年度に新施設の建設を進めています。令和4年度には飛騨市の広葉樹を活用した内装工事と機器・什器類を設置し、7月のオープンを目指します。

【施設概要】

構造：木造 平屋建て
延床面積：326.31㎡



新規 農産物直売施設の巡回集荷体制の構築

遠方等で農作物を直売施設に納入できない出荷会員を対象に、各地区へ巡回集荷し各農産物直売施設へ配達する体制を整備します。

1,404 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 26 P	

新規 直売所への出荷を目的とした特色ある野菜等種苗材料の支援

農産物直売施設の出荷会員に対し、特色ある農産物や売れ筋野菜などの種や苗を配布するとともに、料理レシピを添えて陳列するなどにより、品揃え強化を図ります。

360 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 26 P	

新規 上町農産物直売所における伝承作物フェアの開催

上町農産物直売施設において、秋頃に伝承野菜フェアを開催し、展示・試食会を行うとともに、美味しく召し上げられるレシピを添えて販売します。

60 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 27 P	

新規 コンクール入賞米の受賞記念イベント販売の実施

上町農産物直売施設において、飛騨市うまいお米アワードや国際コンクール受賞米等を期間限定販売するイベントを実施します。

0 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 19 P	

拡充 農水産物加工品の新商品開発支援

事業者等の新商品開発等を支援する既存補助制度の対象者に農林水産事業者を追加し、農林水産加工品の開発研究費等の1/2(上限30万円)を補助します。

30,000 千円	商工課
概要書： 28 P	

(予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)

外商による地域経済の復活促進

新規 首都圏既存店舗等を活用した市特産品実証販売サロン等の開催

首都圏の既存店舗等を活用し、飛騨の魅力を体験・体感できるポップイベントの常設化を図るほか、市の特産品や食、体験などのサロンを開催します。

1,500 千円	商工課
概要書： 31 P	

新規 北陸・中京圏等での物産イベントの開催

コロナ禍の知見を活かし、富山市と連携した商業施設での観光物産イベントや北陸エリアを中心としたショッピングモール等での観光物産展などを実施します。

1,000 千円	商工課
概要書： 32 P	

新規 商工団体等によるイベント開催の支援

市内商工団体等が特産品販売等のイベントを市外で開催する際の経費について1/2(上限250千円/団体)を支援します。

500 千円	商工課
概要書： 32 P	

新規 市産品の海外輸出セミナーの開催

食品や農産加工品をメインに、市産品の販路拡大と高付加価値化を目的とした輸出についてのノウハウを学ぶセミナーを開催します。

272 千円	商工課
概要書： 33 P	

持続可能な産業の基盤をつくる

持続可能な農畜産モデルの構築

農業者の減少や管理不全農地の増加などの様々な課題を解消し、積極的な撤退の概念も取り入れながら、人口減少時代の持続可能な農林水産業モデルを確立するため、農地管理や産地保護といった根源的な問題に切り込むとともに、さらなる担い手・支え手の掘り起こしやスマート農業技術を活用した生産性の向上に取り組みます。

2 飢餓をゼロに



6 安全な水とトイレを世界中に



スマート農業の導入促進

新規 IoTを活用した市内気象観測点の拡大による農業への活用

主要10箇所に気温・湿度・気圧・雨量・風速などを計測する機器を設置するとともに、活用方法を考える勉強会を開催するなど広く利用して頂く仕組みを検討します。

3,662 千円
農業振興課
概要書： 34 P

新規 人工衛星技術を活用した作物生育状況確認システムの試験導入

人口衛生技術を活用し 1 kmメッシュ単位で作物生育状況を把握できるシステムを導入し、モニター農業者を募集して活用事例を共有する勉強会を開催します。

1,244 千円
農業振興課
概要書： 34 P

拡充 水田センサーによる水管理の省力化

KDDIとの連携により実証実験を進めてきた水田センサーについて、一般農業者への貸出を開始し、水稻栽培における水管理の省力化の普及を図ります。

787 千円
農業振興課
概要書： 34 P

継続 スマート農業機器等の導入支援

岐阜県と協調し担い手農業者による直進アシスト機能付田植機や農業用ドローンなどのスマート農業機器等の導入費用の一部を支援します。

16,953 千円
農業振興課
概要書： 34 P

未来を見据えた持続可能な農業の支援

新規 モデル地区における荒廃農地の未来を語る座談会の開催

荒廃農地対策としてモデル地区を選定し、「守り残していくべき農地」を地域と一緒に考え、専門家を招へいし課題の洗い出しを行います。

2,000 千円
農業振興課
概要書： 35 P

新規 牛等の放牧による地域と連携した荒廃農地対策の試験実施

モデル地域を選定し、市は資機材設置等、畜産農家は牛等の地域への貸与、地域は給餌を行うなど、3 者共同で放牧による下草刈りの実証実験を行います。

1,700 千円
畜産振興課
概要書： 36 P

新規 農地の貸し借りの見直しに関する周知啓発

農地の貸し借りにおける借地料や草刈り作業等の決め事を見直していく必要性を理解していただけるよう、チラシ等による周知啓発を行います。

70 千円
農業振興課
概要書： 37 P

新規 草刈り作業の省力化に向けた実証実験

自走式草刈機等を市が導入し、市シルバー人材センターや地域団体等に活用してもらうことで、市内の農地環境における省力効果の実証実験を行います。

630 千円
農業振興課
概要書： 38 P

拡充 作業受託交付金の上限撤廃と対象作物の追加

作業受託支援交付金について、年間50万円の交付上限額を撤廃するとともに、これまでの水稻・そばに加えて新たに大豆の作業受託を追加します。

4,000 千円
農業振興課
概要書： 37 P



雇用就農の促進

新規 市内農業法人への雇用に対する奨励金の交付

市内農業生産者に就農し、1年以上継続して雇用された方に対し就農奨励金（学卒7万円、UIターン5万円）を交付します。

120 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 将来的な就農を見据えたインターンシップ受入農家の支援

市内の農業生産者がインターンシップを受け入れる場合に、インターン生に支払う宿泊費や交通費について最大3万円支援します。

100 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 農業生産者が独自に行う雇用確保対策の支援

市内の農業生産者が従業員確保を目的に行う取組（就職フェアへの出展やサイト掲載、チラシ作成）にかかる費用について、最大10万円支援します。

600 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 新たな雇用確保を目的に行う労働環境整備の支援

市内の農業生産者が雇用確保を目的に労働環境（仮設トイレや休憩所）の改善を行う場合、環境改善に要した費用について最大20万円支援します。

200 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規就農者の確保と育成

新規 研修生受入農家の育成を図る講習会の開催

経験豊かな飛騨地域のあすなろ農業塾長等を講師に迎え、研修方法や研修生とのコミュニケーションなどを学ぶ勉強会を開催します。

29 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 パートタイム労働者の受入未経験農家向け勉強会の開催

農繁期等の人手不足を補うためのパートタイム労働者の受入について、これまで実績がない農家を対象に、ベテラン農家を講師とした勉強会を開催します。

12 千円
農業振興課
概要書： 39 P

拡充 水稻の受託耕作者に対する農機具等の購入支援

中高年就農者水稻応援補助金の対象者に作業受託者を追加し、新たに10a以上の農地を作業受託する際の農機具購入等の1/3(上限30万円)を支援します。

3,000 千円
農業振興課
概要書： 39 P

拡充 新規就農者の獲得と就農への複合的な支援

市内先進農家の作業風景等をウェアラブルカメラで撮影し、若手農業者向けの教材として活用するほか、就農フェア等でも利用し、新規就農者の獲得に繋がります。

1,566 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 農業人材バンクの構築

農業生産者と仕事を探している方とのマッチングを図る農業人材バンクを構築し、マッチング成功時にノベルティをプレゼントするほか、PRポスター等により登録を促進します。

63 千円
農業振興課
概要書： 39 P

拡充 農業研修生や先進農家との交流

青年農業士を中心に先進地視察や情報交換等の交流を行っている「たのしい農村ねっとわーく」について、農業研修生も新たに参加対象に追加します。

40 千円
農業振興課
概要書： 43 P

新規 飛騨市農業なんでも相談窓口の開設

就農に対する門戸を広げ、本格的に農業を始めたい方から家庭菜園を始めたい方まで、あらゆることをワンストップでサポートする窓口を農業振興課内に設置します。

0 千円
農業振興課
概要書： 39 P

新規 農業の魅力や求人情報を周知する「アグリニュース」の定期刊行

やりがいのある農業のイメージや魅力のほか、求人情報等をわかりやすく市内外に広く伝えるための情報紙「飛騨市アグリニュース」を年4回発行します。

361 千円
農業振興課
概要書： 39 P

鳥獣害対策の強化

継続 獣害対策重点地区における捕獲体制の強化

サルによる被害を防ぐため、神岡町石神・数河地区を重点地区に指定し、地域との協働により令和3年度から2ヵ年計画で実施している対策を継続して実施します。

1,775 千円
林業振興課
概要書： — P

新規 猟友会との連携による鳥獣害対策の強化

鳥獣害対策業務の一部をより専門的な知見を有した猟友会員に委託することで、鳥獣害に対する迅速な対応と捕獲体制の強化を図ります。

2,402 千円
林業振興課
概要書： 44 P

継続	新たな狩猟者の免許等取得支援	新たに有害鳥獣捕獲業務に従事する意欲のある市民が、狩猟免許及び猟銃等を取得する場合、その経費に対し上限50万円を補助します。		3,500 千円	林業振興課	概要書： — P	農林部
組織	鳥獣害対策業務を林業振興課に集約し体制を強化	総合的な鳥獣害対策を推進するため、防除を担当する農業振興課と捕獲を担当する林業振興課の業務を統合し、推進体制の強化を図ります。					農林部

持続可能な畜産業の推進

新規	産業動物医療獣医師に対する家賃補助	市内の産業動物医療に従事するため市内に転居する獣医師に対し、入居にかかる敷金礼金及び入居後24ヶ月間の家賃の一部を支援する制度を創設します。		0 千円	畜産振興課	概要書： 45 P	
新規	獣医科学生による事前訪問学習の開催	5年生以下の獣医科学生を対象に、飛騨地域の畜産業の実態を学びながら地域の魅力を体感していただく事前訪問学習を開催し、旅費等の一部を支援します。		1,306 千円	畜産振興課	概要書： 45 P	
拡充	獣医科大学への訪問PR	獣医科大学を訪問し、飛騨市の畜産事情のPRや就職説明会を行います。また、訪問時や就職説明会で活用するため獣医師募集専用のパンフレットを作成します。		789 千円	畜産振興課	概要書： 45 P	
新規	市獣医師職員の処遇改善	夜間や休日の時間外診療業務を時間外勤務手当の対象となるよう見直すとともに、新たに初任給調整手当を設けることで、県内でも最も手厚い処遇を講じます。			人件費の内数 畜産振興課	概要書： 45 P	
新規	全国和牛能力共進会鹿児島大会の応援	10月に開催される「全国和牛能力共進会」に出品する飼育農家に対する報奨金や懸垂幕等作成のほか、市民応援団を結成しオール飛騨で大会を盛り上げます。		761 千円	畜産振興課	概要書： 46 P	
新規	地元産稲WCSの購入支援等による利用促進	地元産WCSを利用していない生産農家への試供用購入費を1/2補助するとともに、購入する際の輸送費を1ロールあたり500円補助します。		1,100 千円	畜産振興課	概要書： 47 P	
拡充	牛伝染性リンパ腫淘汰支援事業の対象拡充	これまでの5産までから10産までに対象牛を拡大し、牛伝染性リンパ腫の陽性牛を廃牛として淘汰し同一年度内に代替牛を導入・保留する農家への支援を行います。		1,600 千円	畜産振興課	概要書： 48 P	
拡充	採卵・受精卵移植支援制度の対象牛の拡大	往診料や薬代など採卵に係る費用の1/2を支援する既存制度の対象牛に、新たに牛伝染性リンパ腫陽性牛も追加し、高能力牛の採卵・受精卵移植を促進します。		275 千円	畜産振興課	概要書： 49 P	

森林の適切な整備・保全による脱炭素社会への貢献

森林所有者の経営意欲の低下等による整備不足の森林が増えたことから、所有者に代わって自治体が整備するための財源「森林環境譲与税」が導入され2年が経ちました。市では、この財源を活用した森林資源の適切な整備に本格着手することで保全と産業の両立を図りながら森林の新陳代謝を促しCO2吸収量を増大させることでカーボンニュートラルに貢献します。

6
安全な水とトイレを世界中に


15
陸の豊かさも守ろう


森林環境譲与税を活用した森林施業と環境整備

新規	集落等による里山環境の維持・保全活動への支援	農地維持等に係る共同活動を援用し、新たに集落等が自ら取り組む森林の保全管理や資源活用等に必要な経費の一部を支援します。		4,000 千円	林業振興課	概要書： 50 P	
新規	民間事業者が主体となった広葉樹林施業への支援	民間事業体が主体となった広葉樹天然林の施業に要する経費の一部を市が独自で支援する仕組みを整備し、広葉樹の安定供給体制の構築を図ります。		10,000 千円	林業振興課	概要書： 51 P	

新規 森林作業路の機能強化への支援			
林業事業体が実施する路盤強化や排水処理、幅員拡幅等の作業路の機能強化及び向上に必要な経費に対し、市独自の積算単価に基づく支援を行います。	10,000 千円	林業振興課	概要書： 52 P
新規 森林環境譲与税を活用した市独自の里山林整備			
森林環境譲与税を活用し、緊急度や費用対効果等の観点から優先度が高い箇所について、市独自事業として緩衝帯（バッファゾーン）の整備を行います。	11,000 千円	林業振興課	概要書： 53 P

林業技術者の確保・育成

新規 飛騨市フォレストスクールの開校			
施業現場見学・体験から先輩フォレスターとの交流、移住相談まで、市内で林業に就くまでをフルパッケージで支援する「飛騨市フォレストスクール」を開校します。	3,000 千円	林業振興課	概要書： 54 P
新規 県立森林文化アカデミーの通学に必要な家賃への支援			
市内企業就職後にアカデミーに入学した際の2拠点生活の負担軽減を図るため、アカデミー通学に必要な住居家賃について月額1万円を支援します。	320 千円	林業振興課	概要書： 55 P
(予算額は「林業・木工技術者の確保及び育成の推進」の総額です)			
新規 将来的な就林を見据えたインターンシップ受入事業体の支援			
市内の林業事業体がインターンシップを受け入れる場合に、インターン生に支払う宿泊費や交通費について最大3万円を支援します。	0 千円	林業振興課	概要書： 55 P
(予算額は「林業・木工技術者の確保及び育成の推進」の総額です)			

新規 林業事業体が独自に行う雇用確保対策への支援			
市内の林業事業体が従業員確保を目的に行う取組（就職フェアへの出展やサイト掲載、チラシ作成）にかかる費用について、最大10万円を支援します。	320 千円	林業振興課	概要書： 55 P
(予算額は「林業・木工技術者の確保及び育成の推進」の総額です)			
新規 市内中高生を対象とした林業出前講座や現地見学会の開催			
市内中高生等を対象に、現在の林業に対する正しい認識と森林が有する公益的機能を伝える出前プログラム及び現地見学会等を開催します。	600 千円	林業振興課	概要書： 56 P

新規 林業を分かりやすく伝える動画の制作			
高性能林業機械を活用した森林整備の様子を分かりやすく伝える動画を制作し、出前講座等に活用するほか、youtubeなどで広く公開します。	550 千円	林業振興課	概要書： 56 P

広葉樹のまちづくりの推進

新規 国産広葉樹集成材の開発と活用アイデアの募集			
市内産広葉樹を活用した集成材の開発と、それらの新たな活用手法を広くコンペにより募集することで、小径材のカスケード利用とさらなる高付加価値化を図ります。	2,800 千円	林業振興課	概要書： 57 P
新規 広葉樹天然林の森林認証取得による高付加価値化			
市内の広葉樹天然林の一部においてFSC認証を取得し、今後増加が予想される需要に対応するとともに、認証材として差別化を図ることで販売促進を図ります。	1,500 千円	林業振興課	概要書： 58 P
新規 飛騨市における広葉樹施業の基本方針等の策定			
アドバイザーの助言を得ながら、広葉樹天然林の整備や木材生産にかかる基本方針、施業方法など技術的ガイドライン等を策定し、市森林整備計画に登載します。	0 千円	林業振興課	概要書： 59 P
新規 広葉樹モデル林の指定による取り組みのPR推進			
宮川地区市有林の一部を広葉樹施業試験・研究モデル林として指定し、施業に関する試験や広葉樹のまちづくり学校、団体視察等での説明・PR等に活用します。	250 千円	林業振興課	概要書： 59 P

新規 アイデア公募による市有林レンタルの実施

市有林の活用アイデアを広く公募し、市の林業振興に資する取り組みを提案する個人、団体等に対し市有林をレンタルすることで市有林の有効活用を図ります。

600 千円
林業振興課
概要書： 60 P



社会変化に柔軟に対応できる事業者の支援

新型コロナウイルス感染症の流行は、世界に大きな社会・経済的ショックをもたらし、国や地方自治体による様々な対策・事業が実施されましたが、その後遺症はまだ続くと考えられています。不屈の精神で立ち上がる事業者の回復力と適応力を高め、事業者自らが持続可能な経営の在り方を推進できるよう全面的なサポートを行います。



持続可能な事業経営の支援

新規 事業承継サポートセンターの開設

市ビジネスサポートセンター内に、新たに事業承継サポートセンターを開設し、多種多様な相談に応じるほか、県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携を強化します。

4,350 千円
商工課
概要書： 61 P

(予算額は「飛騨市ビジネスサポートセンター運営事業」の総額です)

新規 事業の承継を考えるセミナーの開設

市内の現経営者を対象として、家族間・従業員・第三者といった様々な承継方法について考える機会となるセミナーを開催します。

985 千円
商工課
概要書： 61 P

(予算額は「飛騨市ビジネスサポートセンターが行うセミナー事業」の総額です)

拡充 小規模事業承継補助制度の対象経費拡充

承継時の建物改修等を支援する既存補助制度の対象経費に、譲渡希望事業者が承継希望者募集広告を雑誌・インターネット等で行う際の費用を追加します。

30,000 千円
商工課
概要書： 61 P

(予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)

新規 事業者が実施するDX化の支援

事業者が行うDX化に対するアドバイザー派遣から実装までの費用に対し1/2（上限20万円/年）を支援するとともに、維持費（上限20万円）も2年間支援します。

30,000 千円
商工課
概要書： 28 P

(予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)

ターゲットを絞った人材確保・育成の支援

新規 中途就職者向け就職面談会の開催

ハローワーク主催の介護就職デイトと合同で中途就職者向けの就職面談会を開催し、求職者と人事担当者が直接面談できる場を提供します。

0 千円
商工課
概要書： 62 P

拡充 就職情報サイトのUIターン者向け機能改修

市就職情報サイト「企業ステーションHida」にUIターン就職者向けのカテゴリーを設けるとともに、賃金等の追加情報も掲載するよう機能改修を行います。

90 千円
商工課
概要書： 62 P

新規 UIターン者獲得に向けたふるさと就職情報発信チラシの作成

お盆等の帰省シーズンを狙い、市内でUIターン就職された方へのインタビュー記事や企業紹介等を掲載した就職情報チラシを新聞折込します。

1,577 千円
商工課
概要書： 62 P

拡充 人材確保対策支援制度の支援額等拡充

就職フェア出展や情報サイト掲載を支援する既存補助制度の上限額を50万円に引き上げるほか、人材不足が顕著な業種に限り補助率を1/2から2/3へ引き上げます。

1,700 千円
商工課
概要書： 63 P

(予算額は「市内事業者の人材確保・育成支援事業」の総額です)

新規 外国人材コミュニティセンターの試験開設

市内の監理団体講習センターを外国人材や地域住民が自由に集える交流拠点「飛騨市外国人材コミュニティセンター」として試験開設します。

0 千円
商工課
概要書： 64 P

新規 外国人材のための暮らしのマナー講習会等の開催

ゴミの分別ルールなど日常生活の中で困惑する様々な場面をテーマにした講習会を開催するほか、業務支援員による相談会や地域住民との交流会を開催します。

161 千円
商工課
概要書： 64 P

新規 事業者における従業員の資格取得の支援

事業者の費用負担により職務に必要な資格・講習等を従業員に取得させる場合、対象経費の1/2（上限5万円）を補助します。

1,700 千円
商工課
概要書： 63 P

（予算額は「市内事業者の人材確保・育成支援事業」の総額です）

新規 市内事業所の若手職員の交流促進

市内商工団体と連携し、市内の事業所の若手職員の勉強と交流を目的とした交流会を開催します。

300 千円
商工課
概要書： — P

関係人口と地域が“交動”する仕組みをつくる

外部人材の活力による地域の活性化

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、地方への移住やテレワーク・ワーケーション等の場所を問わない働き方を求める動きが活発化していることから、ふるさと納税やファンクラブ等をはじめとした様々なプラットフォームを入口にしてヒダスケ!等を活用した様々な「関わりしろ」の間口を広げ、関係人口と地域が互いに交わり活動する“交動”の仕組みをつくります。



ファンになってよかったと思ってもらえる仕組みづくり

新規 飛騨市ファンクラブサポートセンターの開設

node(ノード)と宙ドーム神岡にファンクラブサポートセンターを開設し、会員来訪時の情報提供や会員特典の対応などによりおもてなしを強化します。

0 千円
地域振興課
概要書： 65 P

拡充 ファンクラブ会員特典の充実

これまで各店舗が行っていた会員特典を改め、ファンクラブサポートセンターにおいて市内で使える割引クーポンを発行するほか、宿泊特典を引き続き実施します。

1,565 千円
地域振興課
概要書： 65 P

拡充 ファンクラブ会員用ネット通販サイトの期間限定開設

これまでの会員限定特産品カタログ通販の送料500円支援に加え、夏の時期だけの会員限定ネットショップも開設し、送料支援を継続して実施します。

3,760 千円
地域振興課
概要書： 66 P

新規 長期滞在し体験プログラムに参加する「ヒダスケーション」の推進

1週間以上の滞在中、週に2つ以上の「ヒダスケ!」などの体験プログラムに参加したファンクラブ会員に、宿泊特典に上乗せしたボーナスポイントを付与します。

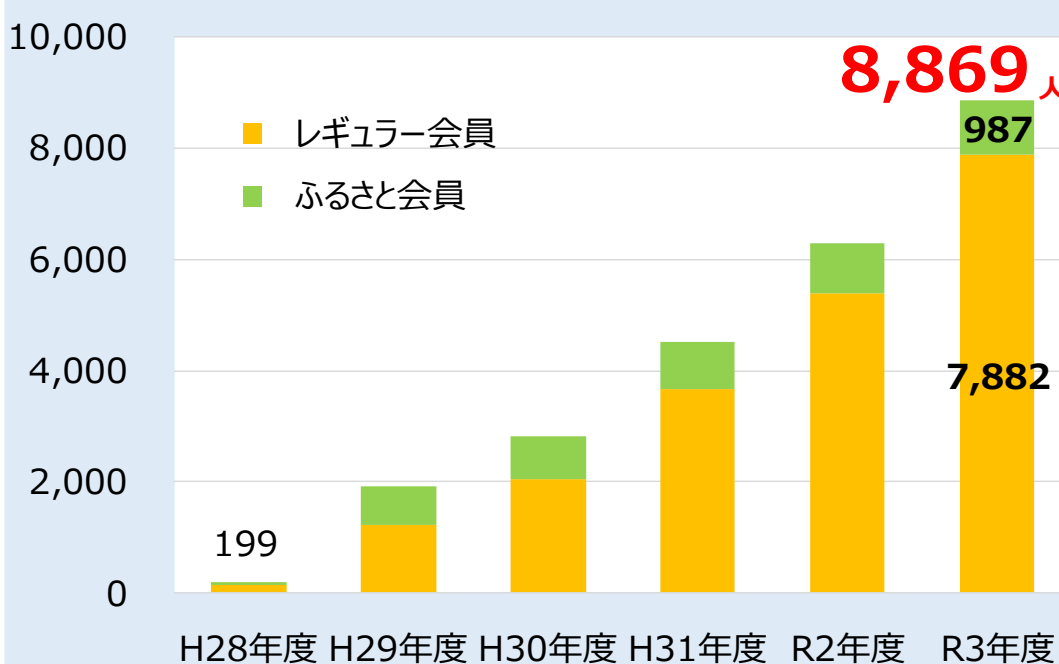
100 千円
地域振興課
概要書： 65 P

新規 関係人口マッチングサービス活用の支援

季節的な人手不足解消と関係人口創出を目的として民間マッチングサービスを活用して関係人口を受け入れる事業者に対し、マッチング費用等の一部を支援します。

500 千円
地域振興課
概要書： 67 P

飛騨市ファンクラブ会員数の推移



「ヒダスケ!」がグッドデザイン賞など受賞!!

関係人口と地域課題の「関わりしろ」をマッチングする関係案内所「ヒダスケ!」が、令和3年度に多数の賞を受賞しました!

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ① 令和3年7月 | 令和3年度沿岸域学会誌論文奨励賞 |
| ② 令和3年10月 | 2021年度グッドデザイン賞 |
| ③ 令和3年11月 | 第9回グッドライフアワード環境大臣賞
自治体部門賞 |
| ④ 令和4年2月 | 2021年度ふるさと名品オブ・ザ・イヤー
地方創生賞コト部門 |
| ⑤ 令和4年2月 | 第22回 中部の未来創造大賞 大賞 |

新規 ふるさと種蔵村民限定の種蔵農作物おすそ分け通販の実施

種蔵を守り育む会との連携により、地域住民から提供いただける野菜やお米を、種蔵村カタログショッピングとして村民限定で販売し、収益を保全活動に活用します。

140 千円
宮川振興事務所
概要書： 68 P

（予算額は「「棚田と板倉の里」の活性化」のうち「村民限定イベント等」の総額です）

新規 ふるさと種蔵村民限定の種蔵農作物を活用した料理教室の開催

種蔵の各家庭における地域の味を村民が自宅で楽しんでもらえるよう、地域住民を講師に種蔵紅カブやミョウガ等を用いた漬物の料理教室を開催します。
(予算額は「「棚田と板倉の里」の活性化」のうち「村民限定イベント等」の総額です)

140 千円
宮川振興事務所
概要書： 68 P

新規 新港郷友好クラブ会員限定オンラインツアーの開催

新港郷友好クラブ会員を対象に、市の特産品を事前に送り、一緒に食べながら市の観光施設や見どころを巡るオンラインツアーを開催します。

600 千円
総合政策課
概要書： 69 P

移住・定住の促進

新規 移住者住宅ローンにかかる利子補給支援

移住者が住むとこネット掲載物件を購入する際に、移住者用住宅ローンを借りた際の利息1%を上限に最長36月全額補給します。

200 千円
地域振興課
概要書： 70 P

拡充 移住サイト「飛騨に暮らす」の全面リニューアル

これまでの移住サイト「飛騨に暮らす」に新たに就職情報等も紐づけするなど、移住者が知りたい情報を一括して取得できる情報サイトにリニューアルを行います。

3,221 千円
地域振興課
概要書： 71 P

拡充 空き家の賃貸住宅利活用の促進

不足する賃貸物件の掘り起こしのため、引き続き賃貸住宅化のための改修を支援するとともに、新たに賃貸住宅化のメリットを整理した周知チラシ等を作成します。

3,011 千円
地域振興課
概要書： 71 P

継続 移住検討者・移住者の生活サポート

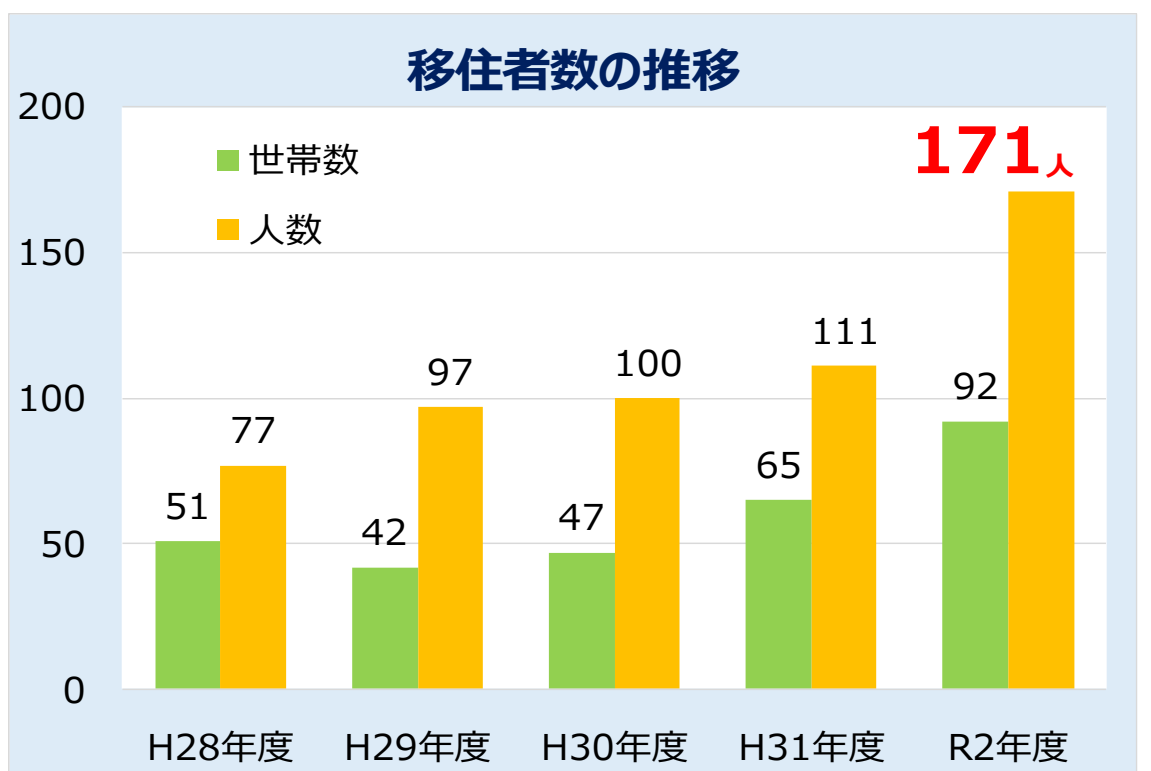
引っ越しやペーパードライバー講習、除雪用具やスタッドレスタイヤ購入等の費用を補助するとともに、雪下ろし講習会の開催など、移住者の新生活サポートを行います。

1,549 千円
地域振興課
概要書： 70 P

継続 ふるさと種蔵村民への市独自のお年玉抽選付年賀状の配布

ふるさと種蔵村を思い浮かべていただくキッカケ作りのため、市独自のお年玉番号を付した年賀状を送付し、種蔵の特産品や家庭の味を村民へお届けします。
(予算額は「「棚田と板倉の里」の活性化」のうち「村民限定イベント等」の総額です)

140 千円
宮川振興事務所
概要書： 68 P



みんなが心豊かに暮らせる環境をつくる

安心して子育てできる環境の整備

平成29年度に実施したひとり親家庭実態調査により子育て“世帯の貧困”が明らかになったことから様々な施策を展開しました。令和3年度の再調査により新たな気づきがあったことから、政策の深化を図るとともに、子どもの数が減少しているからこそ、子育て支援全般の投資額を堅持した手厚い支援を行います。



ひとり親家庭等への支援

新規 ひとり親家庭を対象とした宅食サービスの創設

同居家族のいないひとり親家庭（児童扶養手当受給者）を対象に、民間の宅配弁当購入時に利用できる500円のクーポン券を世帯人数×12回分配布します。

1,275 千円

子育て応援課

概要書： 72 P

新規 ひとり親家庭の疾病時等の家事・育児等の支援

ひとり親家庭等の保護者が疾病等により家事や育児ができない場合、住居の掃除、買い物、乳幼児の保育等を代行する支援員を派遣します。

474 千円

子育て応援課

概要書： 73 P

新規 ひとり親を対象とした指定教育訓練の市独自支援

ひとり親を対象とした、雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座等を受講した場合、受講料支払後に受講料の2割を助成します。

60 千円

子育て応援課

概要書： 74 P

拡充 ひとり親家庭等の病児保育利用料の負担軽減

病気等により療養が必要な乳幼児から小学3年生までの児童を一時的にお預かりする病児病後児保育について、ひとり親世帯の利用料を減免します。

20,349 千円

子育て応援課

概要書： 75 P

（予算額は「病児・病後児保育利用体制の強化事業」の総額です）

拡充 ひとり親家庭等の高校入学時の準備品購入支援額の拡大

高校入学時の負担軽減のため、ひとり親家庭（児童扶養手当受給者）に対する準備品購入支援について、2万円の上乗せ助成を実施します。

22,800 千円

子育て応援課

概要書： 76 P

（予算額は「入園・入学に係る準備品購入への支援事業」の総額です）

安心して子育てができる環境の整備

新規 公立保育園における看護師の配置

感染症の早期発見や感染対策時の保育士への指導、慢性疾患がある園児への対応等で公立保育園3園をサポートする看護師1名を宮城保育園に配置します。

4,166 千円

子育て応援課

概要書： 77 P

拡充 民間事業者との連携による神岡地区での休日保育の実施

休日保育を実施している宮城保育園に加え、神東会との連携によりたんぼぼ苑従業員用の苑内託児所において神岡地区の休日保育を実施します。

1,230 千円

子育て応援課

概要書： 78 P

新規 助産師の訪問による産前産後サポートの実施

産後にサポートが必要と思われる妊婦に対し、助産師が産前から居宅を訪問し、心身にかかる様々な支援を個別に行うアウトリーチ型のサポート体制を整えます。

120 千円

市民保健課

概要書： 79 P

拡充 不妊・不育症治療時にかかる交通費の助成拡大

通院時の交通費について、これまでの一律15,000円助成では大きな個人負担が生じるケースがあったことから、距離に応じて助成する方式に改め、負担を軽減します。

1,500 千円

市民保健課

概要書： 80 P

拡充 高校入学時の準備品購入支援額の拡大

高校入学時の負担軽減のため、必要な教科書等の購入にかかる費用助成について、上限額をこれまでの3万円から4万円に引き上げます。

(予算額は「入園・入学に係る準備品購入への支援事業」の総額です)

子ども達が楽しく遊べる環境の整備

新規 インクルーシブ遊具の整備

障がいの有無に関わらず誰もが一緒に遊べる公園を目指し、まずは杉崎公園と坂巻公園に固定ベルトがついたブランコと車イスに座ったまま遊べる砂場を整備します。

継続 杉崎公園の遊具リニューアル

令和3年度から実施している杉崎公園遊具の全面リニューアルについて、令和4年秋のリニューアルオープンを目指し、引き続き整備を進めます。

拡充 3歳健診時における保護者の尿中塩分濃度の測定

3歳児～75歳までの各年代の尿中塩分検査に加え、3歳児健診時に、保護者の尿も検査を実施することで、乳幼児期からの生活習慣の改善を促進します。

新規 ユニバーサルな公園をテーマとした千代の松原公園の整備検討

千代の松原公園を、全世代が開放的な環境の中で気軽にゆっくり過ごせる公園として再整備するため、市民や関係団体等へのニーズ調査を行います。

新規 杉崎公園人工芝グラウンドを活用した水遊び場の提供

小さいお子さんが芝生の上で安全に水遊びができるよう、杉崎公園の人工芝グラウンドを活用し、スプリンクラーやプール等を設置し、複数回試行開放します。

弱い立場の方々が不自由なく暮らせる環境の整備

高齢者や障がいのある方、生活に困難を抱える方等への様々な分野の専門家による総合相談体制を整えるべく設置した「飛騨市地域生活安心支援センター」の更なる体制強化を図るとともに、安心して自分らしく暮らせる拠点やサービスの足らざる部分を補完することで、誰もがあんきに暮らせる環境を整備します。



障がいのある方等が自分らしく暮らせる環境の整備

拡充 障がい者グループホームの整備

令和3年度から進めている旧和光園をリノベーションした障がい者グループホームの整備について、令和4年度は施設改修工事に着手するとともに、備品の購入や指定管理者の施設運営ノウハウの習得支援を行い、令和5年度の供用開始を目指します。

- 建設工事 令和4年4月～令和5年3月（予定）
- 供用開始 令和5年7月（予定）
- 主な機能 障がい者グループホーム
訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所
ホームヘルプステーション

415,102 千円 障がい福祉課 概要書： 85 P



新規 飛騨市地域生活支援拠点事業の本格実施

障がいのある方等の緊急時受入対応や24時間365日の連絡相談体制機能を持つ拠点を本格実施し、「もしも」に備えるシステムを整備します。

地域生活安心支援センター
概要書： 86 P

拡充 飛騨市地域生活安心支援センターの人員体制強化

「ふらっと」の活動を一層充実させるべく、総合相談窓口と学校卒業後の就労をサポートする地域連携支援員の計3名の人員増強を行います。

12,672 千円
地域生活安心支援センター
概要書： 87 P

新規 重度障がい者雇用時の介助支援

重度障がい者等が就労する事業所において、ヘルパーや看護師等の職場での介助にかかる人件費等の一部を支援します。

940 千円
障がい福祉課
概要書： 88 P

新規 喀痰吸引・経管栄養の資格取得研修費用の助成

重度障がい者等の喀痰吸引や経管栄養を行うための資格取得費用について、県補助を受けた残額の自己負担を市が全額支援します。

360 千円
障がい福祉課
概要書： 88 P

拡充 障がい者就労施設応援企業奨励金の支給要件の拡充

障がい者就労施設等から物品購入・業務委託を行った事業所等に対する奨励金制度について、3年以上継続した発注がある事業所も対象に追加します。

350 千円
障がい福祉課
概要書： 89 P

新規 バリアフリーのまちづくりを目指した基礎調査の実施

障がい者総合支援協議会の協力により、まずは公共施設や屋外のトイレを対象にユニバーサルデザインの必要性や優先順位、段差などの有無について現地調査を行います。

250 千円
障がい福祉課
概要書： 90 P

拡充 在宅障がい児者の交通費支援における適用拡充

在宅障がい児者の通院等にかかる交通費支援について、児者それぞれ別々にあった制度を統合し、障がい者の自家用車移動を対象経費に追加します。

700 千円
障がい福祉課
概要書： 91 P

生活に困難を抱える方々への自立に向けた支援

新規 成年後見制度中核機関の設置と担い手育成の推進

市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の中心的な機関となる中核機関の設置を行うとともに、成年後見を受任する担い手育成の研修費用を支援します。

1,305 千円
地域包括ケア課
概要書： 92 P

新規 多重債務防止のための専門家によるライフプラン教育支援

子どもの成長に伴い将来の家計運営に不安を抱えている方を対象に、ファイナンシャルプランナー等の専門家によるライフプラン立案を通じた個別支援を行います。

30 千円
地域包括ケア課
概要書： 93 P

継続 保護者等を対象とした金融教育支援

金融機関との連携により、入園・入学前の保護者を対象とした将来を見据えた金融教育説明会等の開催のほか、個々の状況に合わせた個別の金融教育を行います。

0 千円
地域包括ケア課・総務課
概要書： 93 P

継続 東海労働金庫と連携した多重債務者の自立支援

市と協定を締結した東海労働金庫と連携し、多重債務等生計困難者に対する市の相談支援員の伴奏支援を前提としたおまとめ融資等の支援を行います。

200 千円
地域包括ケア課
概要書： 93 P

高齢者が安心して暮らせる環境の整備

新規 公共交通を活用した貨客混載の実地検証

山之村地区をモデルとして、地域住民と販売業者、公共交通事業者と市の連携により、貨客混載による買い物弱者支援の実地検証を行います。

0 千円
地域包括ケア課
概要書： 94 P

新規 高齢者を対象としたスマホ教室の開催と市民指導員の養成

高齢者のデジタルデバイドを解消するため、各地域において市民指導員を養成するとともに、その指導員が小単位で高齢者向けスマホ講座を開催する体制を整えます。

2,000 千円
生涯学習課
概要書： 95 P

新規 IoTを活用した高齢者見守り支援システムの実証実験

一人暮らし高齢者世帯等を対象に、実証モニターとして見守りシステムを数種貸与し、有効性等を検証するほか、結果周知を兼ねた体験展示会を開催します。

900 千円
地域包括ケア課
概要書： 96 P

拡充 神岡地区における認知症地域支援拠点の開設

古川地区に民間委託により開設した認知症地域支援拠点について、相談事案の多い神岡地区にも新設し、支援相談体制の強化を図ります。

7,473 千円
地域包括ケア課
概要書： 97 P

新規	終活支援センターによる死後事務委任サービスの調査・研究	
終活支援センターにおける実際の相続財産処分等の相談事例をモデルに、死後事務委任サービスの課題等を調査・研究します。	4,000 千円 地域包括ケア課 概要書： 98 P	
(予算額は「自分と家族のための終活等の支援事業」の総額です)		

拡充	福祉用具の購入・貸与に関する訪問リハビリ専門職の派遣	
ケアマネの依頼によりリハビリ専門職が訪問し、住宅改修のアドバイス等を行う事業について、住宅改修に加え福祉用具の購入・貸与も対象事業に追加します。	90 千円 地域包括ケア課 概要書： 99 P	

新規	認知症VR体験会の開催	
VR技術を活用した認知症の中核症状を体感する体験会を開催し、頭で理解するのではなく体感することを通じて、より多くの方への理解を深めます。	462 千円 地域包括ケア課 概要書： 97 P	

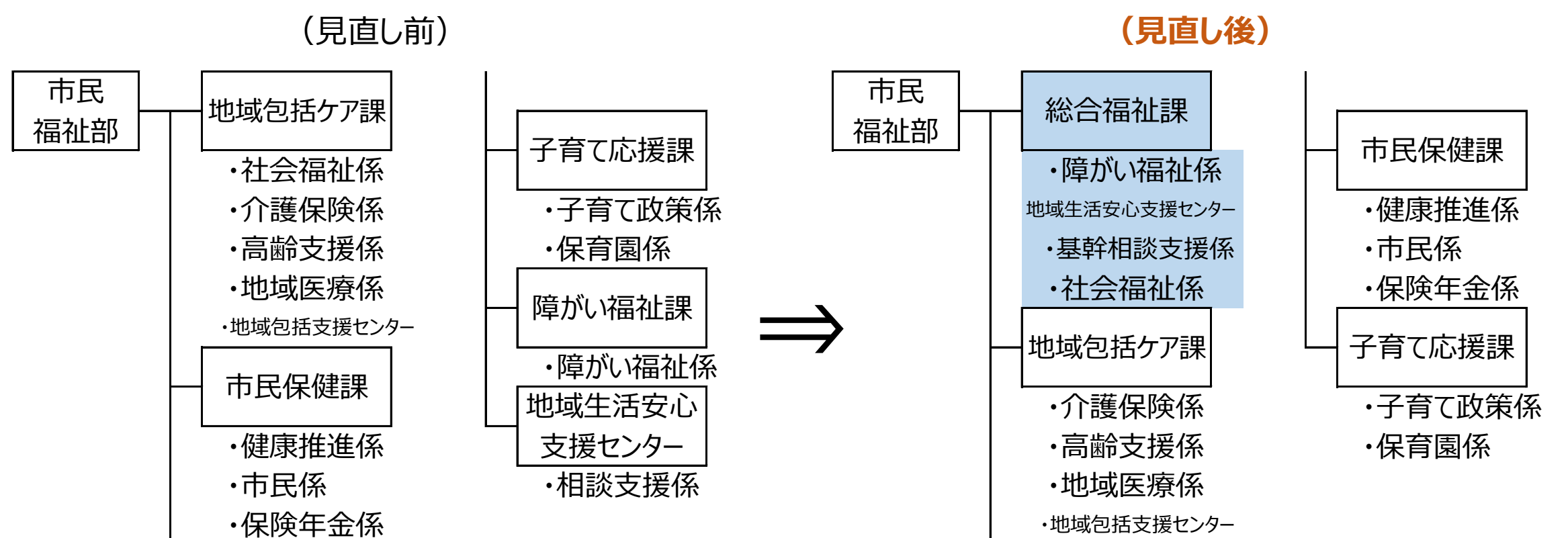


(組織の見直し)

組織 市民福祉部所管の事業を総合調整する「総合福祉課」の設置

地域生活安心支援センターにおける総合相談機能との密な連携が求められる障がい福祉課と地域包括ケア課社会福祉係を統合し、市民福祉部所管事業や市民からの相談に組織全体で連携して対応するための総合調整を担う「総合福祉課」を新たに設置します。

市民福祉部



みんなが健康で暮せる環境をつくる

持続可能な医療・介護・福祉体制の整備

地域包括ケア医療の実践に向けて、平成28年度から人材の確保や施設誘致によるサービスの充実を目指し、先進的な施策を重層的に講じてきたことにより、着実な成果が得られるとともに取組の先進地として高く評価されています。引き続き足らざる分野について新たな施策を展開し、安心して医療や介護等を受けられる環境を守ります。



医療・介護・福祉の人材確保と施設設置促進

新規	医療・介護・福祉機関等の新設・拡張の支援	
市の医療・介護・福祉の分野の新設・拡張の支援策を統合整理し、各分野共通の支援ができる補助率1/2（上限500万円）の補助制度を創設します。	8,000 千円 地域包括ケア課 概要書： 100 P	

新規	飛騨市民病院で受入れた研修医のネットワークづくり	
無料SNS等を活用したネットワークを構築し、先輩・後輩の意見交換、勉強会等の案内、市民病院の最新レポート等の情報発信を行うことで関係性の持続を図ります。	0 千円 病院管理室 概要書： 101 P	

新規 医療・介護総合人材バンク登録者への特別支援

専門職の急な退職等による欠員の発生に伴い、その穴を埋めるため急遽人材バンク登録者が就業した場合に、緊急臨時交付金として30万円を交付します。

(予算額は「医療・介護・福祉人材確保対策の支援事業」の総額です)

新規 ヘルパー経験者の正規雇用に対する奨励金の交付

市内事業所がヘルパー経験者を正規職員として雇用した際に、一人当たり10万円の奨励金を事業所に交付することで、雇用待遇の改善を促進します。

(予算額は「医療・介護・福祉人材確保対策の支援事業」の総額です)

新規 育休・産休の取得に積極的な介護事業所への支援

育休や介護休暇等の取得推奨により職員の離職防止、定着促進を図ろうとする介護事業所に対し、1人あたり10万円を奨励金として交付します。

(予算額は「医療・介護・福祉人材確保対策の支援事業」の総額です)

新規 薬剤師の緊急確保対策

病院における薬剤師の欠員の発生に伴い就業いただいた薬剤師に対し、奨学金返還費用の一部(月額3万円×最長6年間)を支援します。

(予算額は「医療・介護・福祉人材確保対策の支援事業」の総額です)

新規 市内ヘルパー事業所の合同求人リーフレットの作成

ヘルパー人材の確保を目的として、市内全ヘルパー事業所の求人情報とヘルパー業務の魅力等が伝わる求人リーフレットを市が作成します。

(予算額は「医療・介護・福祉人材確保対策の支援事業」の総額です)



気軽に取り組める健康づくりの促進

テレワークや外出自粛の暮らしが続いたことで運動不足による体力や筋力の低下を心配し、朝夕にウォーキングをされる方が増えるなど、健康づくり・体力づくりの意識が高まっています。市民が気軽に楽しく健康づくり・体力づくりができるよう、更なる運動機会の創出や環境整備を推進し、人生100年を健康100年で過ごせるまちづくりを推進します。



楽しく健康づくり・体力づくりができる環境の整備

拡充 クアオルト健康ウォーキングのまちなか新コースの開設

協会独自認定の新たなコース「小島城コース(仮)」「藤波八丁コース(仮)」の設定を行うほか、「木のベッド」を森林公園コースに設置します。

拡充 クアオルト連携自治体へのウォーキングツアーの開催

岐阜市や関市への日帰りウォーキングツアーを開催するとともに、健康の三要素「運動・食・休養」とクアオルトをセットにした観光パックの造成を促進します。

継続 ノルディックウォーキングの普及推進

募集型の体験会やイベントを開催するほか、新たな指導員を発掘するため、ノルディックウォーキング指導員資格取得に対して助成金を交付します。

継続 全世代の体力づくりのための「飛騨市スポレク祭」の開催

全世代を対象として、一般のスポーツに加え、スポーツ吹き矢やアルティメットなど、新しいレクリエーションに触れられるイベントを各町で隔年交代で開催します。



防災・防犯体制の強化

近年、集中豪雨や豪雪などの気象災害が頻発化・激甚化しており、加えて、これまでに経験したことのない感染症の流行などにより、生活の安心・安全を脅かすリスクは拡大しています。いつ、どこで、何がおきるかわからない災害から市民一人ひとりの命と暮らしを守るため、これまでの対策から更に一歩踏み込んだ実践的な対策を講じていきます。



実践的な防災活動の推進

新規 各家庭に配備する防災ハンドブックの作成

洪水災害や地震等への備え、避難所生活、非常持ち出し・備蓄品等について、最新の情報を掲載した防災ハンドブックを作成し、各家庭に配布します。

4,000 千円	危機管理課
概要書： 111 P	

新規 実際の垂直避難をイメージしてもらうチラシの作成

洪水等災害時に自宅の2階等へ垂直避難した際の数日間生活するために必要な物品などについて要約したチラシを作成し、梅雨時期前に全戸配布します。

0 千円	危機管理課
概要書： 111 P	

新規 市内中小河川に対応する洪水ハザードマップの作成

市内の中小10河川及び宮川沿いの地域に対し、県作成の洪水浸水想定区域図をもとにした河川ごとの洪水ハザードマップを作成し、該当流域全戸に配布します。

2,583 千円	危機管理課
概要書： 112 P	

新規 福祉専門職との連携による個別避難計画作成の試行実施

福祉専門職が関与した個別避難計画作成を試行的に実施し、作成経費として7千円/件を支払うほか、試行実施の評価検証研究会を発足します。

223 千円	地域包括ケア課
概要書： 113 P	

拡充 協定に基づく福祉避難所への防災備蓄品の配備

協定に基づく市内8箇所の福祉避難所に、市指定避難所と同様の基準となるよう更衣テントやパーテーション、担架や会話ボードなどを配備します。

2,560 千円	危機管理課
概要書： — P	

新規 神岡地区における福祉避難所開設訓練の実施

神岡地区の指定避難所における福祉避難スペースの確保方法や運営方法について、岐阜大学地域減災研究センターから講師を招いて訓練を行います。

201 千円	障がい福祉課
概要書： 114 P	

新規 避難所における下水道マンホールトイレシステムの整備

避難所のトイレ不足解消のため、マンホールトイレシステムを市内に5箇所整備するとともに、使用法や課題把握のため、組立式トイレを一括購入し検証を行います。

61,340 千円	水道課・危機管理課
概要書： 115 P	

新規 防災行政無線デジタル化に向けた基本構想調査の実施

市の防災行政無線のデジタル化に向けた手法や必要経費の洗い出しなどの調査を実施し、今後の設備等の維持や更新に関する方針を策定します。

5,060 千円	危機管理課
概要書： 116 P	

拡充 消防団員の報酬や出動・操法大会等にかかる処遇改善

総務省の基準に準拠し団員報酬等を引き上げるほか、県操法大会に関わる団員や専門技術等を要する団員に対する特別報酬を市独自に創設します。

37,324 千円	消防本部
概要書： 117 P	

新規 消防団員の準中型免許取得等の費用助成

平成29年の法改正により準中型免許が必要となった消防団車両の運転手を確保するため、準中型免許の取得費用とAT限定解除費用を全額支援します。

制度創設	
消防本部	
概要書： 118 P	

新規 女性消防職員が安心して働ける環境の整備

令和4年度からの女性消防職員の勤務にあわせ、古川消防署庁舎において女性職員専用区画を設け、仮眠室やトイレ等の整備を行います。

16,500 千円	消防本部
概要書： 119 P	

新規 消防本部被災時のための本庁舎基地局アンテナの設置

消防本部が水害発生時の浸水想定区域に指定されていることから、発災時に市役所に消防本部臨時指令室を開設できるよう、可搬型アンテナ等を整備します。

239 千円	消防本部
概要書： — P	

拡充 危険木処理事業の対象範囲の拡大

倒木等の処理に要する経費の一部を補助する既存制度について、将来的に第三者に損害を与える可能性が高い立木の予防伐採を支援メニューに追加します。

2,000 千円
林業振興課
概要書： 120 P

地域防犯力の強化

拡充 地域防犯灯設置支援の時限的拡充

行政区等が新設するLED防犯灯の設置費用を支援する既存補助制度について、令和4年度から2年度間に限り、支柱設置費用の補助率を8割に引き上げます。

650 千円
総務課
概要書： 121 P

拡充 市内における屋外防犯カメラの増設

新たに神岡大橋と宮川町の遊漁者無料駐車場に防犯カメラを設置するほか、地域等が防犯カメラを設置する際の費用助成を引き続き行います。

3,000 千円
危機管理課
概要書： — P

新型コロナウイルス検査体制の整備

継続 飛騨市まちなか簡易検査センターの運営

国の承認を受けた新型コロナウイルス抗原定性検査キットを活用し、飛騨市民病院の巡回診療という形で市内2箇所の検査センターを運営します。

2,700 千円
市民保健課
概要書： — P

継続 無症状PCR検査等の支援

市内7箇所の医療機関において、無症状者を対象とした迅速PCR検査等を自己負担3,000円で受けられるよう、その差額を市が支援します。

5,000 千円
市民保健課
概要書： — P

新しい生活様式に対応したインフラ・行政サービスの充実

コロナ禍における移動制限や3密回避により、日常生活に大きな変化を迫られる一方、IoTを活用した代替サービスの充実が加速するなど、「新しい生活様式」が大きく広がりました。こうしたトレンドを押さえつつ、市の地域特性と照らし合わせながら行政DXの促進や住環境の整備、地域のコミュニティ活動の支援等に取り組み、市民生活の利便性向上を図ります。



個人や地区が有する建物等の環境整備

新規 個人・行政区等が実施する空家住宅の除却支援

所有者または行政区等が空家を解体する際の費用の1/2（上限100万円）を補助し、更に行政区等が特定空家を解体する場合は補助率及び上限を上げます。

4,000 千円
総務課
概要書： 122 P



新規 市内空家の調査によるデータベースの構築

住宅地図データベースを保有する事業者へ委託し、市が保有する空家情報に、事業者の現地調査データを統合することで、市内空家のデータベースを構築します。

5,000 千円
総務課
概要書： 123 P

新規 集落有集会施設に付属する倉庫の整備支援

集落有集会施設に付属する倉庫等の整備について、費用の1/3（形態により上限15～200万円）を支援する制度を創設します。

1,060 千円
生涯学習課
概要書： 124 P

拡充 集落有集会施設の解体費用に対する支援

従来の施設の新築等への支援に加え、世帯減少により施設維持が困難な地域があることから、施設解体費用の1/2の支援（上限150万円）を追加します。

4,605 千円
生涯学習課
概要書： 124 P

新規 民間賃貸住宅の建設促進補助制度の創設

市内のアパート不足を解消し人口流出を抑制するため、アパートを建設する個人及び事業者に対し、建設資金の借入や固定資産税に対する支援を行います。

2,000 千円
都市整備課
概要書： 125 P

継続 住宅リフォームの支援

令和３年度から実施している市民の住宅リフォーム補助制度を引き続き実施し、あんきで暮らしやすい住まいづくりを後押しします。

60,000 千円
都市整備課
概要書： 126 P

拡充 結婚新生活支援補助制度の対象経費拡充

新婚世帯の市内での結婚生活のスタートに必要な費用の一部を支援する既存補助制度の対象経費に、住宅リフォーム費用を追加します。

6,000 千円
地域振興課
概要書： 127 P

公共インフラ等の整備

新規 名古屋大学との連携による公共交通の共同研究

地域参画型の公共交通サービスを実現するため、専門的な知見を有する名古屋大学との共同研究を実施するとともに、人材育成のための短期人材交流を行います。

6,466 千円
総務課
概要書： 128 P

新規 継承者がいない遺骨を納める市営合葬墓の整備

市営墓地の継承者がいない遺骨や経済的に墓の建立が困難な方等を対象とした合葬墓を市営墓地内に整備するほか、墓じまい等の市民ニーズの調査を実施します。

2,864 千円
環境課
概要書： 129 P

継続 生活を支える道路・橋梁などの基盤整備

市民生活を支える道路・橋梁の改良・補修、交通安全・防災対策、河川改良や急傾斜地対策など、各種基盤整備を推進します。

480,500 千円
建設課
概要書： 130～132P

新規 古川大橋の耐震化に向けた設計の実施

市道に架かる橋梁のうち、今後耐震化が必要な橋梁について、孤立等の緊急性やライフラインへの影響等も考慮し、優先度の高い古川大橋の詳細設計を行います。

15,000 千円
建設課
概要書： 132 P

継続 公共下水道船津処理区の管渠施設整備

梨ヶ根・寺林地区において、引き続き管渠整備及び舗装復旧工事を実施し、梨ヶ根地区の一部と寺林地区の年度末からの供用開始を目指します。

159,900 千円
水道課
概要書： 133 P

新規 神岡地内消雪設備の増設にかかる概略設計の実施

R2に実施した既存井戸の揚水量調査により、全路線の整備が困難であることから、地元住民と一緒に路線選定を行うプロセスを取り入れ概略設計を行います。

5,000 千円
建設課
概要書： 134 P

継続 市道等の安定的な除雪

除雪機械や消融雪施設、凍結防止剤の散布等による道路除雪を行うとともに、除雪機械の計画的な更新や消雪施設の維持管理を行います。

387,152 千円
建設課
概要書： 135 P

新規 道路除雪サポーター制度の創設

生活道路等の除雪を行う市民・団体を除雪サポーターとして登録し、機械燃料費や安全対策用品を支給するとともに、ハンドガイド式小型除雪機の購入を補助します。

700 千円
建設課
概要書： 135 P

継続 雪下ろしサポートセンターによるワンストップ支援

吉城建設業協会の協力により「雪下ろしサポートセンター」を開設し、雪下ろし弱者を対象として業者への作業依頼から費用助成の手続きを事前登録のみで自動的に支援します。

2,000 千円
地域包括ケア課
概要書： 136 P

行政DXの推進等による市民の利便性向上

新規 ごみ出し支援アプリの導入

ごみの分別帳や収集日カレンダー機能を搭載し、利用者の地区を登録することで、分別の種類に応じたごみ出し日の通知などが行えるスマホアプリを導入します。

346 千円
環境課
概要書： 137 P

新規 オンライン対応業務の推進

ICT相談員を配置し、電子申請フォームを活用してオンライン申請に対応した業務を増やすことで“行かなくてもいい市役所”の実現を目指します。

3,872 千円
管財課
概要書： 138 P

新規 飛騨市デジタルトランスフォーメーション推進計画の策定

人口減少による市が抱える問題に柔軟に対応しデジタル化を加速していくための推進計画について、外部の専門家を交えた策定委員会を設置し計画を策定します。

222 千円
管財課
概要書： 138 P

新規 民間webサイトとの連携によるお悔やみ情報の充実

飛騨地域の葬儀会社が運用しているwebサイトと市公式サイト「戸籍の窓」を連動させることで、掲載情報の充実（喪主・住所地番等の追加）を図ります。

198 千円
市民保健課
概要書： 140 P

拡充 軽自動車税関係手続きの電子化

新車登録・検査情報及び軽自動車税の納税情報の電子連係により、車検時の納税証明書提示を省略するため、関連するシステムの改修を行います。

715 千円
税務課
概要書： 141 P

新規 介護認定審査会オンライン化

審査委員が自宅や職場から審査会に参加できるよう、委員にタブレット端末を貸与し、ZOOMを活用したオンライン審議会を段階的に実施していきます。

2,072 千円
地域包括ケア課
概要書： 143 P

新規 オンライン配信スキルを持った技術者の育成

オンライン配信技術を学べるセミナーを開催し、市のオンラインイベント現場を実践で学べる場として提供するほか、地域で配信作業をサポートし合える体制を構築します。

132 千円
総合政策課
概要書： 145 P

市職員採用活動の強化

新規 市職員の職能向上に向けた資格取得等の支援

職員の自己研鑽に資する資格取得経費について1/2（最大30万円）を支援することで、職員の職能向上に向けた自発的な取り組みを促進します。

200 千円
総務課
概要書： 146 P

拡充 市公式Webサイトの機能拡充

トップページや防災ページ等をリニューアルするとともに、視覚障がい者等に配慮した「音声読み上げ機能」を追加するなど、利便性の向上を図ります。

3,919 千円
総合政策課
概要書： 139 P

新規 市税のQRコードによる納税システムの導入

金融機関や自治体の事務負担軽減と納税者の利便性向上のため、納税関連システムの改修を行い、令和5年度からの市税のQRコード納税開始に備えます。

7,348 千円
税務課
概要書： 141 P

拡充 市税の口座振替新規申込促進キャンペーンの実施

市税の口座振替利用率の向上を図るため、新たに口座振替を申込み実際に振替された方を対象に、飛騨市行政スマイルポイントを500ポイント進呈します。

535 千円
税務課
概要書： 142 P

拡充 リモートセンシング技術を活用した地籍調査の推進

市内一部モデル地域において、リモートセンシングデータを活用した机上での確定を試行することで、山林所有者の負担軽減と調査の効率化を図ります。

61,757 千円
林業振興課
概要書： 144 P



新規 市職員採用活動の強化

市の政策など独自の魅力を掲載した就職ガイダンス資料を作るほか、採用試験に多くの企業で利用されている総合適性検査を取り入れ、採用の選考軸を強化します。

1,410 千円
総務課
概要書： 146 P

資源・環境を未来に引き継ぐ仕組みをつくる

未来に繋ぐ地域資源の保全と活用

飛騨市の自然資源や景観資源は、これまでの歴史の中で市民により綿々と守り受け継がれてきた財産ですが、保全や活用を担ってきた世代の高齢化により技術や知見の継承が困難な状況に直面していることから、次代の担い手となる後継者の育成を図るとともに、保全と活用の両面から取り組みを推進します。



自然資源の掘り起こしと保全・活用の推進

新規 市内資源の現状把握と保全活用方針の検討

自然ガイドやボランティア、登山道補修専門家らと合同で北ノ俣岳、深洞湿原、天蓋山、白木峰等の現状調査を実施するほか、市民向けモニターツアーを開催します。

600 千円

観光課

概要書： 147 P

新規 外部人材の登用による自然案内人等の事務局体制の強化

自然環境に強い想いを持った人物を地域内外から募集・登用し、自然資源の保全活用の中核を担うスペシャリスト人材として計画的な育成に取り組みます。

4,400 千円

観光課

概要書： 147 P

新規 湿原保護パトロール員や自然案内人等のスキルアップ機会の創出

乗鞍山麓五色ヶ原の森など、他地域のフィールドガイドとの交流会を年4回程度開催しガイド個人のサービス能力の向上を図ります。

306 千円

観光課

概要書： 23 P

(予算額は「新たな観光人材の育成事業」のうち「ガイドのスキルアップ事業」の総額です)

新規 天生湿原の陸地化等の原因となる環境影響植物の調査

天生湿原の陸地化進行について、専門家による環境影響植物の現地調査を行うとともに、除去計画を策定し計画的な保全作業を検討します。

130 千円

河合振興事務所

概要書： 148 P

新規 岐阜大学との連携による池ヶ原湿原の獣害対策の実施

野生動物による食害防止を図るため、監視カメラを設置しデータ収集と分析を行うとともに、岐阜大学と連携し保全計画の策定と部分的な電柵設置を行います。

1,319 千円

宮川振興事務所

概要書： 149 P

継続 自然環境に配慮した天生県立自然公園のサイン整備

令和3年度からの2ヶ年計画により実施している天生の森の自然環境に配慮したサイン整備を引き続き実施します。

8,000 千円

河合振興事務所

概要書： 148 P

新規 天生峠駐車場公衆トイレの簡易水洗化

トイレの簡易水洗化に伴い、便器の一部を和式から洋式に付け替えるとともに、男女間の天井間仕切り板を設置するなど衛生的で使いやすいトイレにします。

2,000 千円

河合振興事務所

概要書： 148 P

新規 靴底洗い場の整備による池ヶ原湿原の外来植物種子侵入防

外来植物種子の湿原内への侵入を防止するため、来場者の靴底を洗う場を池ヶ原湿原の入口に2箇所（1箇所は車イス対応）設置します。

981 千円

宮川振興事務所

概要書： 149 P

組織 自然資源の保全・活用のヘッドクォーターを「まちづくり観光課」に

各振興事務所がそれぞれに担っていた湿原等自然資源の保全・活用を統括し、自然資源の掘り起こしと保全活用を行う総合プロデュースをまちづくり観光課が担います。

商工観光部



町並み景観の保全と機運の醸成

新規 古川の町並み景観保全活動の推進

古川市街地における若手の景観研究会を発足し、有識者の指導のもと、景観の価値や意識づくりを行い、研究成果をまとめた小冊子の発刊と活用を目指します。

1,090 千円
観光課
概要書： 150 P

継続 市道壱之町線の無電柱化

未整備区間（約100m）の管路等の整備及び電力・通信線等の入線を実施するとともに、周辺景観に調和した街路灯の整備を実施します。

91,000 千円
都市整備課
概要書： 151 P

新規 市道大横丁線の無電柱化に向けた概略検討の実施

町並み景観保全の取り組みの一つとして、市道大横丁線（JR飛騨古川駅～今宮橋）の無電柱化整備に向けた現地調査及び事業検討を実施します。

8,000 千円
都市整備課
概要書： 151 P



グリーンで住み続けられるまちづくり

政府は2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年までに集中した取組を行う地域脱炭素ロードマップを策定しました。飛騨市は水力発電王国である強みを活かし、再生可能エネルギーの利活用推進と、家庭でも取り組めるゴミ減量化など市民一人ひとりの行動変容を促すことで脱炭素に貢献します。



カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

新規 地域脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利活用研究

送電網等に左右されにくい再生可能エネルギーの利活用方法、市内で生まれ地域外で消費される再エネの付加価値化及び財貨の還流に関する研究を行います。

300 千円
総合政策課
概要書： 152 P

新規 第三次飛騨市環境基本計画の策定

市民レベルで地球温暖化防止に貢献し、地域資源を活かしながら持続的発展が可能な地域を残していくための環境基本計画（R5～）を策定します。

171 千円
環境課
概要書： 153 P

環境に配慮したゴミ処理の推進

新規 官民連携による神岡地区での休日リサイクル体制の整備

神岡町の民設民営のリサイクル積替え保管施設「エコサポートかみおか」をより利用しやすくするため、市の委託により年6回の日曜日開所を試行的に実施します。

1,462 千円
環境課
概要書： 154 P

新規 官民連携による高齢者世帯の粗大ゴミ回収支援

70歳以上の高齢者世帯を対象に、(有)吉城環境管理センター及び(株)神岡衛生社が提供する粗大ゴミ等の有料回収サービスの利用料を500円/回割引します。

125 千円
環境課
概要書： 154 P

新規 IoTセンサーカメラによる不法投棄監視体制の強化

従来のカメラは映像が上書きされ、全ての投棄現場が確認できないため、インターネット経由で全検知映像を送信するIoTセンサーカメラを試験的に設置します。

50 千円
環境課
概要書： 155 P

新規 ごみ・汚泥処理に係る将来方針の検討

稼働から長期間経過している飛騨市クリーンセンター等の処理量の推計や処理方式の調査・検討や費用・課題等の整理を行い、安定的運営の検討を進めます。

14,443 千円
環境課
概要書： 156 P

人口減少先進地の特色ある学びをつくる

地域一体で育む子ども達の学び

少子化や教員の働き方改革が進む中、学習指導要領の改訂による探求的な学習の質的充実が求められるほか、休日部活動の段階的な地域移行の方針が示されるなど、学校を取り巻く環境は大きく変化しています。予測困難な時代を切り拓く人材の育成を図るため、子どもたちが学校だけの枠に捉われず、地域や世代を超えた様々な活動ができる環境を整備します。



将来を見据えた部活動の推進

新規 中学校部活動の地域部活動化の先行実施	
一部のスポーツ及び文化系部活動について、土日の活動を地域活動に移行する「地域部活動化」の試験的な実施を行い、令和8年度の完全移行を目指します。	0 千円 学校教育課 概要書： 157 P
新規 飛騨市部活動指導者バンクの設立と研修会の開催	
部活動指導者を登録する市独自の人材バンクを開設するとともに、県から専門家を招聘し、部活動指導者の研修会を年2回開催します。	0 千円 学校教育課 概要書： 157 P
新規 合同部活動のための学校間シャトルバスの運行	
部活動の一部種目で実施している神岡中、古川中の合同部活動について、シャトルバスの運行により交通手段を確保し、合同部活動の送迎負担の軽減を図ります。	1,331 千円 学校教育課 概要書： 157 P
継続 部活動大会遠征や吹奏楽部の楽器購入の支援	
部活動の遠征や各協会連盟が主催する大会等に出場する際の交通費や宿泊費を支援するほか、吹奏楽部の使用する高価な楽器を計画的に整備します。	5,000 千円 学校教育課 概要書： 157 P

スポーツを通した学びの充実

新規 子ども達のスケートボードエリアの整備にかかる検証	
市内4箇所に実証実験エリアを設定し、近隣住民及び市内スケートボード愛好家に協力いただいて、本格整備に向けた騒音や路面の滑走性等の検証を行います。	1,000 千円 スポーツ振興課 概要書： 158 P
新規 元プロ野球選手による子ども達を対象とした野球教室等の開催	
子ども達を対象に、元プロ野球選手約20名によるふれあい野球教室や様々なアトラクション、選抜チームとのミニゲーム等をサン・スポーツランドふるかわで開催します。	950 千円 スポーツ振興課 概要書： 160 P
新規 社会人野球チームによる野球教室の開催	
県内を代表する社会人野球チーム「西濃運輸」の協力により、小中高校生を対象とした野球教室をサン・スポーツランドふるかわで開催します。	420 千円 スポーツ振興課 概要書： 160 P
新規 ふるさと納税を活用したプロ野球親子観戦ツアーの実施	
ふるさと納税を活用し、普段プロスポーツに接する機会の少ない飛騨市の子ども達を対象として、バンテリンドームの中日ドラゴンズ戦に招待するツアーを実施します。	1,600 千円 地域振興課 概要書： 161 P
新規 子ども達のスポーツ活動を広く周知する情報紙の発行	
子ども達の「スポーツで汗を流す姿や努力している姿」を広く市民に伝えるため、情報紙「スポーツひだ（仮）」を創刊し、年6回発行します。	900 千円 スポーツ振興課 概要書： 159 P

拡充 古川地区におけるスポーツ学童の開設

神岡地区に加え、新たに古川地区において、ひだチャレンジクラブへの委託により、古川トレーニングセンターを拠点に月1回程度、学童保育の実証実験を行います。	2,800 千円 スポーツ振興課 概要書： 162 P
---	-----------------------------------

飛騨市学園構想など特色ある教育の推進



拡充 新港郷との小中それぞれのステージにあわせた英語オンライン交流

これまで実施していた小学生同士のオンラインによる英語交流を中学生同士にも拡大し、小中それぞれの英語学習のステージに合わせた交流を実施します。

0 千円
総合政策課
概要書： 69 P

継続 ふるさと納税を活用した学校給食の充実

地元野菜や特産品等を使用したメニューを提供する「ありがとう給食の日」と、生産者を招いて食材づくり等を学ぶ「ふるさと学校給食」を実施します。

10,000 千円
教育総務課
概要書： 165 P

子どもたちの学ぶ環境の向上

拡充 タブレット端末等ICT機器の更なる整備

小学校児童用のタブレット端末を増台することで、市内全ての児童生徒1人1台端末の環境整備を完了するとともに、一部教員のタブレット端末も追加配備します。

29,551 千円
学校教育課
概要書： 167 P

拡充 学校運営協議会を対象としたポートフォリオ研修会の開催

学校運営協議会を対象としたポートフォリオ研修会を新たに開催し、専門家から運営方法の改善や学校・地域協働のあり方について学びスキルアップを図ります。

260 千円
学校教育課
概要書： 163 P

拡充 神岡地区におけるグリーンルームの開設

児童生徒と保護者が安心して相談・学習できるよう、千代の松原公民館内で実施している教育相談室「グリーンルーム」を神岡町公民館にも設置します。

0 千円
学校教育課
概要書： 164 P

新規 児童生徒と地域・学校が自ら取り組むプロジェクトの支援

児童生徒と地域や学校の連携・協働により企画し取り組むプロジェクト（対面販売会等）に対し、最大20万円支援します。

1,000 千円
学校教育課
概要書： 163 P

拡充 校種間連携による探求学習の推進

中学生を対象にした大正大学での現地体験学習と市内での共同フィールドワークを新たに実施するとともに、小中高連携の防災タウンウォッチングも継続実施します。

744 千円
学校教育課
概要書： 163 P

新規 民間派遣ALTの増員による英語教育の充実

現在のJETプログラムからのALT3名に加え、民間派遣によるALTを1名増員し、児童生徒が普段の学校生活の中で気軽に英語に触れる機会の増加を図ります。

5,390 千円
学校教育課
概要書： 164 P

新規 市内高校の魅力ある取り組みを応援する助成制度の創設

文化祭や部活動の充実や将来の可能性を発揮できる魅力的な環境づくりのための備品購入や活動に最大50万円支援するとともに、取り組みの報告会を開催します。

1,000 千円
地域振興課
概要書： 166 P

拡充 小中学校ICT支援員の増員によるサポート体制の強化

ICT支援員を1名増員し、全ての小中学校において週1回程度訪問することで授業内容の改善を図り、児童生徒の課題解決能力や情報活用能力を育みます。

6,048 千円
学校教育課
概要書： 167 P



地域や人を誇れるまちをつくる

地域づくり型生涯学習の実現

人生100年時代を迎えてマルチステージを生きる現代にあつて、年代を問わず人生をより豊かにする「学び直し」のニーズが高まっていることから、美術や音楽、食を通して生活や文化・芸術に幅広く触れ学ぶことができる環境を整えるとともに、全世代におけるアカデミックな学びの提供を推進します。



全世代が楽しく学べる環境の推進

拡充 飛騨市美術館の空調等大規模修繕の実施

空調設備の更新を中心に、収蔵庫の防湿対策、入口のバリアフリー化やトイレのユニバーサル化、研修室の内装改修などの大規模修繕を実施します。

159,000 千円	文化振興課
概要書： 168 P	

拡充 飛騨市美術館におけるWS・アウトリーチ活動のメ ニュー増

美術館が小中学校へ出かけ、館の収蔵品を活用して鑑賞授業を行うアウトリーチ活動や、展覧会に関連して行う茂住菁邨氏によるワークショップ等を実施します。

900 千円	文化振興課
概要書： 169 P	

拡充 高齢者が楽しく学べる市民カレッジシニア学部の新 設

60歳以上の方を対象に身近な生活テーマに沿った講座を行っていた従来の高齢者学校について、市民カレッジの枠組みの中で開催地域を各町に拡大し実施します。

327 千円	生涯学習課
概要書： 170 P	

拡充 飛騨河合音楽コンクールの審査体制・賞の拡充

1～3位までの賞金増額や特別賞を2つ新設するなど受賞内容を拡充するとともに、審査員を1名増員し、厳正に演奏技術を評価する審査体制をつくります。

1,950 千円	河合振興事務所
概要書： 171 P	



全世代を対象とした食育の推進

飛騨市の食育推進三本柱

- 1.食を通じ豊かな心を育む「心づくり」
- 2.正しい知識の習得により元気な身体をつくる「健康づくり」
- 3.地域の食の特性を活かした「地域づくり」



2005年に施行された「食育基本法」は、「食育」を生きる上での基本と位置付け、「食」に関して正しい知識を持ち、適切に選択する力を身につけることを推進することと定義しています。

コロナ禍によって食にまつわる社会生活環境が大きく変化する中、改めてこれまで市が実施してきた食育施策を整理することで、食育施策を大きく三つの柱に分類しました。

令和4年度は食のまちづくり推進課を核として関係部署間の連携を密にし事業を推進するとともに、それぞれの事業ごとに参加者の満足度アンケート等を実施することでブラッシュアップを図ります。

新規 県との連携による「食の安全知っ得講座」等の開催

県が実施する出前講座を活用し、乳幼児のいる子育て世代と高齢者を対象とした「食の安全」に関する講座を開催します。

0 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 172 P	

新規 伝承作物を「知って・育てて・食べる」食育教室の開 催

食文化の継承に向けて、一般家庭の方を対象に伝承作物を学ぶ・育てる、伝承作物を食べるの2つの切り口から各1回の公民館講座を開催します。

10 千円	食のまちづくり推進課
概要書： 27 P	

拡充	おやこでクッキングの古川地区での開催	未就園児と保護者を対象に試験的に実施し	141 千円
		てきたミニ講話とクッキングを組み合わせた「おやこでクッキング」について、実施地区を古川にも拡大します。	子育て応援課 概要書： — P
継続	市内小学生を対象にした地元シェフによる味覚授業の実施	舌の機能が一番発達する小学生を対象に、	113 千円
		味覚 5 要素や五感を使って食べ物を味わうことなど、食事の大切さに関する授業を開催します。	食のまちづくり推進課 概要書： 172 P
継続	まめとく減塩キャンペーンの推進	自発的に減塩を推進する市民「減塩がんばりすと」を認定する講座を実施するほか、飲食店やご家庭での減塩食品の活用促進を図ります。	720 千円 市民保健課 概要書： 81 P
継続	トマト名人とのミニトマトづくり・まめっこキッチン開催	農家の皆さんにご協力いただき、保育園児にミニトマトの植え付けから収穫して食べるまでの体験や、大豆がきな粉や豆腐に変身していく様子を学ぶ体験を提供します。	138 千円 食のまちづくり推進課 概要書： 172 P
継続	企業等との連携による食育授業等の実施	ポッカサッポロとの連携により、親子対象の料理教室や保育園での食育出前事業、ポッカサッポロの工場見学ツアー等を実施します。	518 千円 地域振興課 概要書： — P
継続	農業体験や食材の地産地消に対する支援	農業未体験の子どもたちへ農業の大変さや収穫の喜びを感じてもらう機会を提供する団体に対し補助を行うほか、学校給食における県産食材の使用を補助します。	499 千円 食のまちづくり推進課 概要書： 172 P

歴史・文化資源を活用した地域づくり

市では、県内初の史跡・名勝の 2 重指定を受けた江馬氏城館跡、新たな国史跡指定が期待される飛騨国司・姉小路氏関連山城群の調査・活用・周知に大きく取り組んでいます。このほか、これまで大きく取り組めていなかった新たな歴史・文化資源を整備し活用していくことで、飛騨市の歴史的魅力や特色を通じた文化・伝統の発信と市民の誇りの醸成を高めます。	11 住み続けられるまちづくりを 
---	---

文化財の保全と活用の推進

拡充

国史跡の指定にかかる意見具申書の提出

飛騨国司・姉小路氏関連山城群の国史跡指定及び傘松城跡の国史跡追加指定に向け、文化庁へ意見具申を行い、令和 5 年度の指定を目指します。

0 千円
文化振興課
概要書：173・174P

新規

小鷹利城跡案内サインの整備

地元のご協力により小鷹利城跡の登山道再整備が完了したことから、古川ふれあい広場から小鷹利城跡への道路案内サインの整備を行います。

300 千円
文化振興課
概要書： 174 P

新規

市天然記念物「福全寺跡の大イチョウ」の保護柵整備

イチョウの根を傷めないよう保護柵を設置します。なお、材は市産広葉樹を活用し、工程の一部を広葉樹のまちづくりセミナーとして実施します。

2,800 千円
文化振興課
概要書： 176 P

新規

市指定文化財「旧中村家」の活用検討WSと修復設計の実施

茅葺きが損傷している旧中村家の修復について、茅葺き職人や地域の方々等とカフェスタイルによる検討会を開催し、その結果を踏まえた調査設計を行います。

2,856 千円
文化振興課
概要書： 175 P

A photograph of a traditional Japanese thatched-roof building, likely the historical site mentioned in the text. The building has a steep, dark thatched roof and a wooden frame. It is surrounded by greenery and trees. A small sign is visible in front of the building.

令和4年2月

飛驒市役所 企画部 総合政策課

☎ 0577-73-6558 (ダイヤル)

✉ sougouseisaku@city.hida.lg.jp



H I D A C I T Y

飛 驒 市